

第3章 日常生活圏域の設定

第1節 日常生活圏域の設定

1 日常生活圏域の設定

高齢者の生活を支える基盤の整備については、日常の生活を営む地域において様々なサービスを提供する拠点の整備が必要となります。

そのため、第3期以降の「市町村介護保険事業計画」においては、高齢者が住み慣れた環境で生活を継続できるようにするために、市町村内を1つまたは複数に区分した「日常生活圏域」を設定し、同圏域を基本的な枠組みとして地域密着型サービスの提供体制を整えていくこととされました。

本市では、これまでの地域特性や生活のつながりに視点を置き、合併前の旧町単位や中学校区を基にした10圏域に設定しています。

圏域別に見ると、65歳以上の高齢者人口が減少傾向かつ85歳以上の人口も減少傾向にある横川圏域、65歳以上の高齢者人口が減少傾向で85歳以上の人口がピークを迎えている牧園圏域が、人口推計から見えてきた特徴的な圏域となるため、加速度的な地域包括ケアシステムの深化が求められることになると考えられます。

65歳以上 人口推移	85歳以上 人口推移	人口推移から想定される状況	圏域
増加 傾向	増加傾向	医療・介護の体制拡充、担い手確保 育成、ニーズ増加	国分北、国分圏域、国分南圏 域、溝辺圏域、隼人北圏域、 隼人南圏域
	ピーク	医療・介護の体制拡充、担い手確保	福山圏域
	減少傾向	育成、10年以降先ニーズ増加	
ピーク	増加傾向	医療・介護の体制維持、担い手確保	
	ピーク	重点、ニーズ増加	霧島圏域
	減少傾向	医療・介護の体制維持、担い手確保 重点、ニーズ減少	
減少 傾向	増加傾向	医療・介護の確保困難、担い手確保	
	ピーク	困難、ニーズ増加	牧園圏域
	減少傾向	医療・介護の確保困難、担い手確保 困難、ニーズ減少	横川圏域

なお、霧島市地域包括支援センターについては、引き続き 10 か所で運営することとすることで、圏域ごとの特性に応じ、地域と一体となった施策の推進を目指します。

圏域	地区自治公民館名
国分北	東襲山、清水、姫城、郡山、木原、川原
国分	国分東、国分西、向花、府中、新町、野口、上小川
国分南	広瀬、福島、松木、湊、上井、川内、平山、本戸、敷根、下井、上之段、塚脇
溝辺	瀬竹、下有川切門、石原、上石原、永尾、曾我、据石ヶ岡、稻荷、宮久、宮川内、三縄、陵北、水尻・横頭、大川内岡、石峯、麓原、玉利、論地、陵南、西原、十三塚、桑坂
横川	山ヶ野、安良、中央、尾田、植村今村、西、佐々木
牧園	牧園、三体、万膳、中津川、持松、高千穂
霧島	永水、向田、大川、中央、湯之宮、待世、田口、狭名田、栞野、桂内、霧島
隼人北	姫城、日当山、松永、中福良
隼人南	小浜、小野、富隈、宮内
福山	小廻、中央、大廻、東牧之原、西牧之原、下牧之原、福地、福沢、佳例川、比曾木野

第2節 日常生活圏域の状況

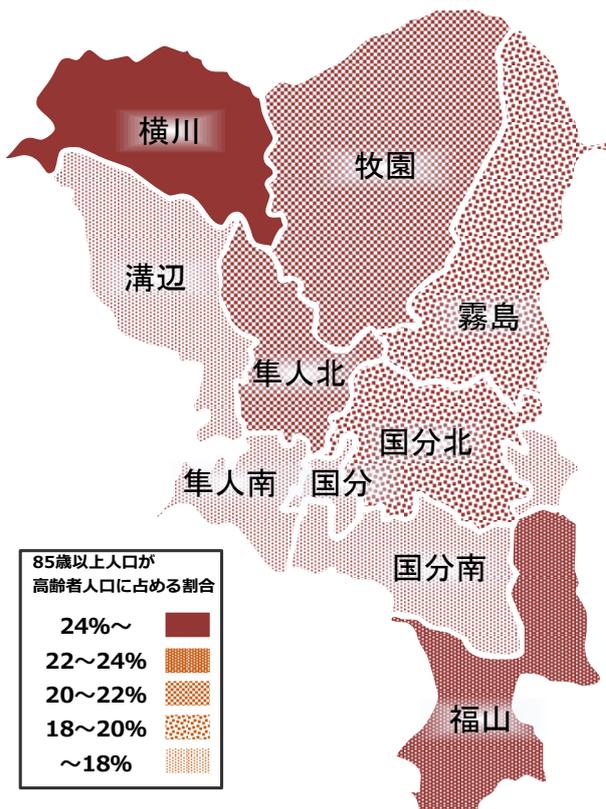
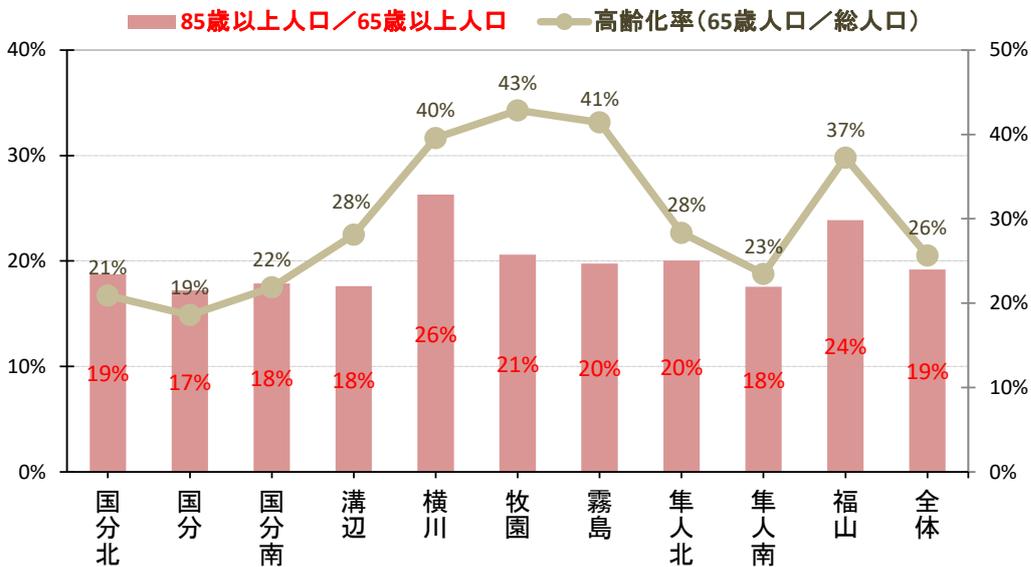
1 本市の日常生活圏域別の地域特性

本市は、10の日常生活圏域を設定しそれぞれに高齢者人口・高齢化率や認定率が異なり、さらに社会資源の違いなどが地域性のある事業展開につながっています。

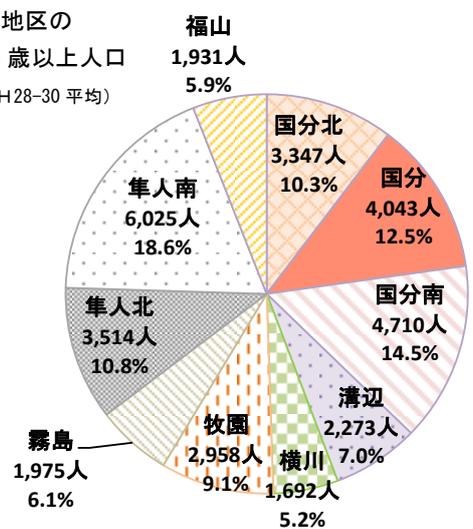
高齢化率では、牧園圏域、霧島圏域、横川圏域などが40%を超えています。

高齢者人口に占める85歳以上人口率では、横川地区、福山地区が他地区と比較して高くなっています。

各地区の高齢化率と85歳人口の占める割合(H28～H30平均)



各地区の
65歳以上人口
(H28-30平均)

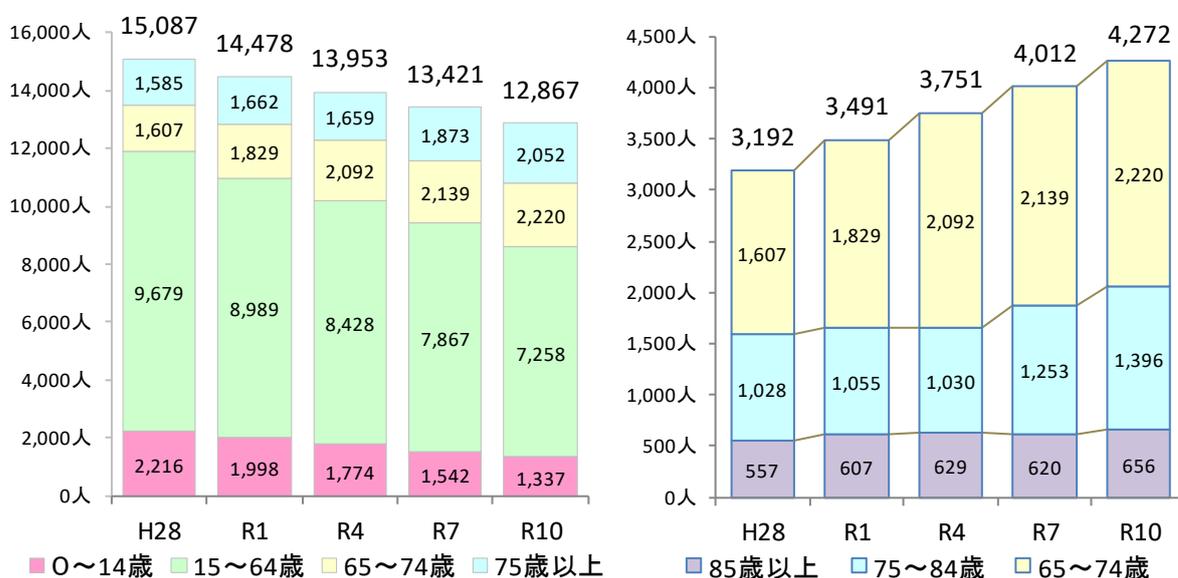


2 圏域別の状況整理シート

(1) 国分北圏域

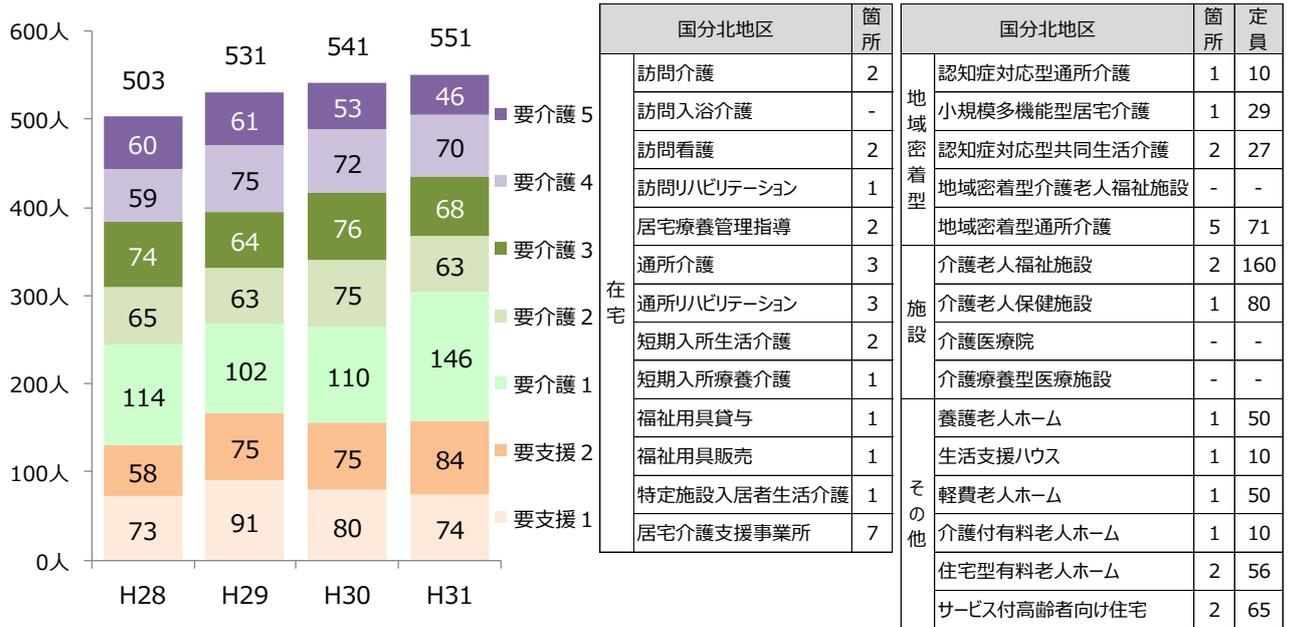
独居や老々介護、世代間交流等を課題に挙げ、地域のひろばや見守り隊、介護保険ボランティアポイント制度等、市の事業を有効活用する自治公民館・自治会が多い圏域です。また、防犯や環境美化、伝統継承等さまざまな地域活動にも活発に取り組んでいます。特に、自治会単位で地域活動に取り組む地域が多いという特徴があります。

総人口は減少、高齢者人口と認定者数は増加となっています。
令和7年には、65歳以上が1.15倍、85歳以上は1.02倍になります。

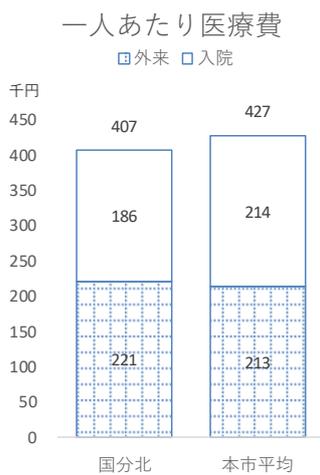


国分北地区		令和1年 (2020年)	傾向	増減率	令和7年 (2025年)
65歳以上	人口	3,491人	↗	1.15倍	4,012人
	割合	24.1%	↗		29.9%
85歳以上	人口	607人	↗	1.02倍	620人
	割合	11.5%	↗		14.0%
70歳以下	人口	12,260人	↘	0.81倍	9,950人
	割合	84.7%	↘		77.3%

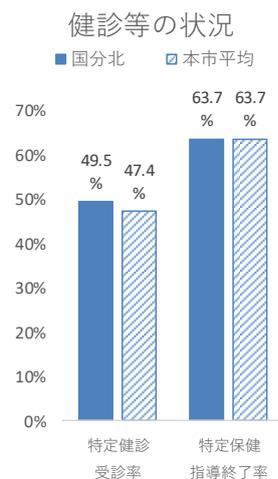
認定者数は増加となっています。
 本市平均と比較して、国保医療費は20千円低く、特定健診受診率は2.1ポイント高く、特保終了率は同率となっています。また、後期高齢医療費は15千円高く、長寿健診受診率は1.7ポイント高くなっています。



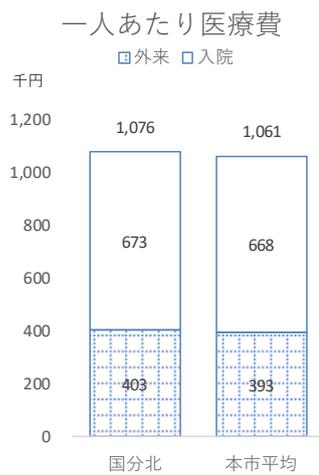
国民健康保険



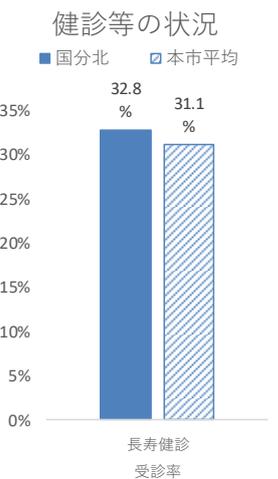
特定健診・特定保健指導



後期高齢者医療



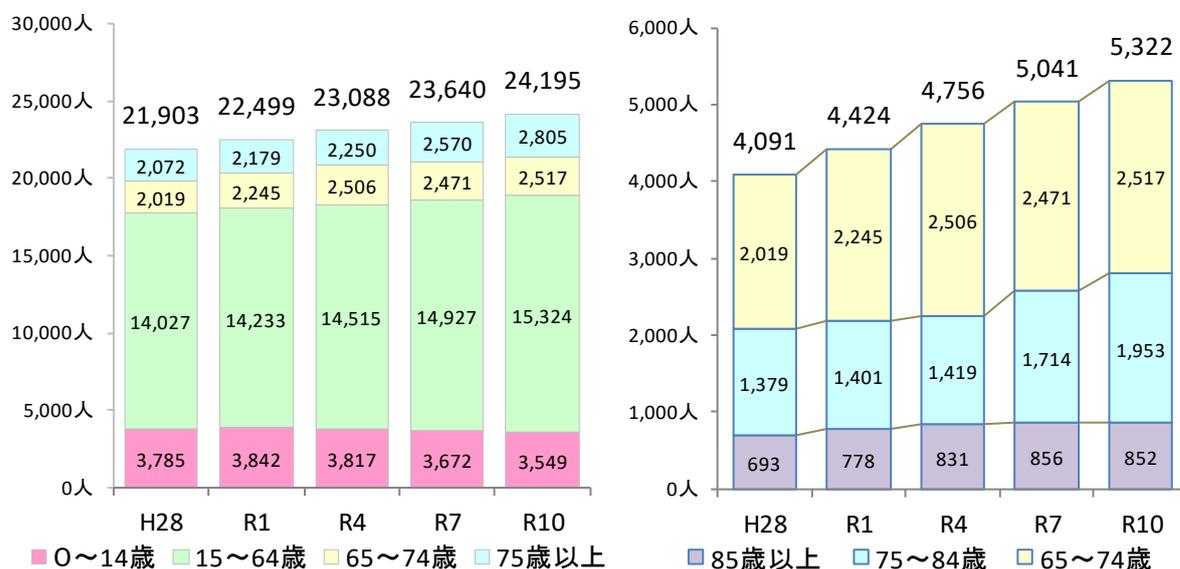
長寿健診



(2) 国分圏域

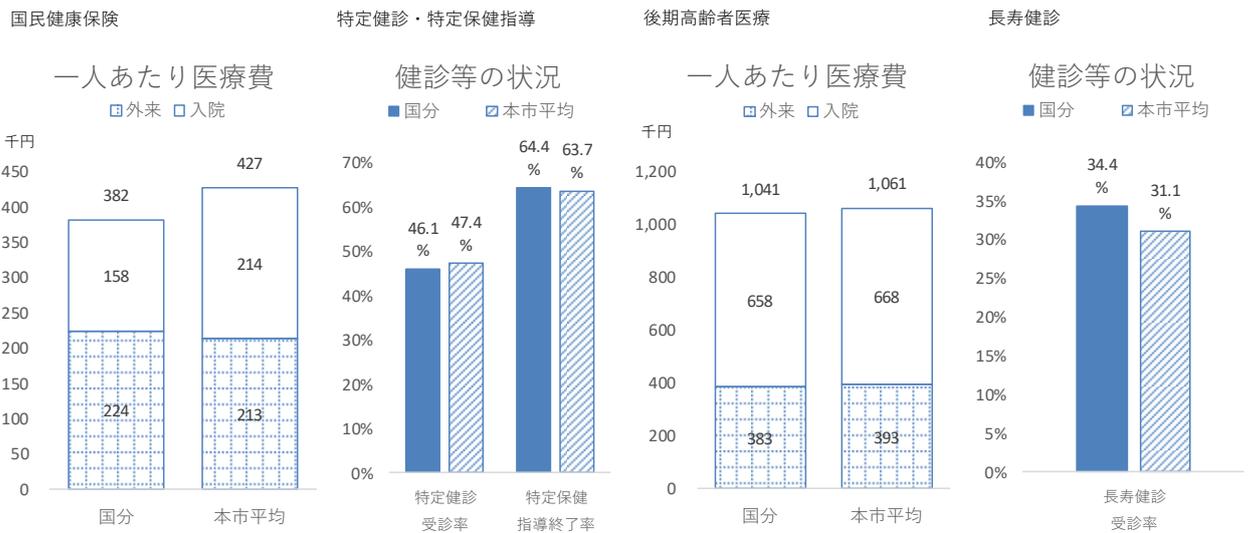
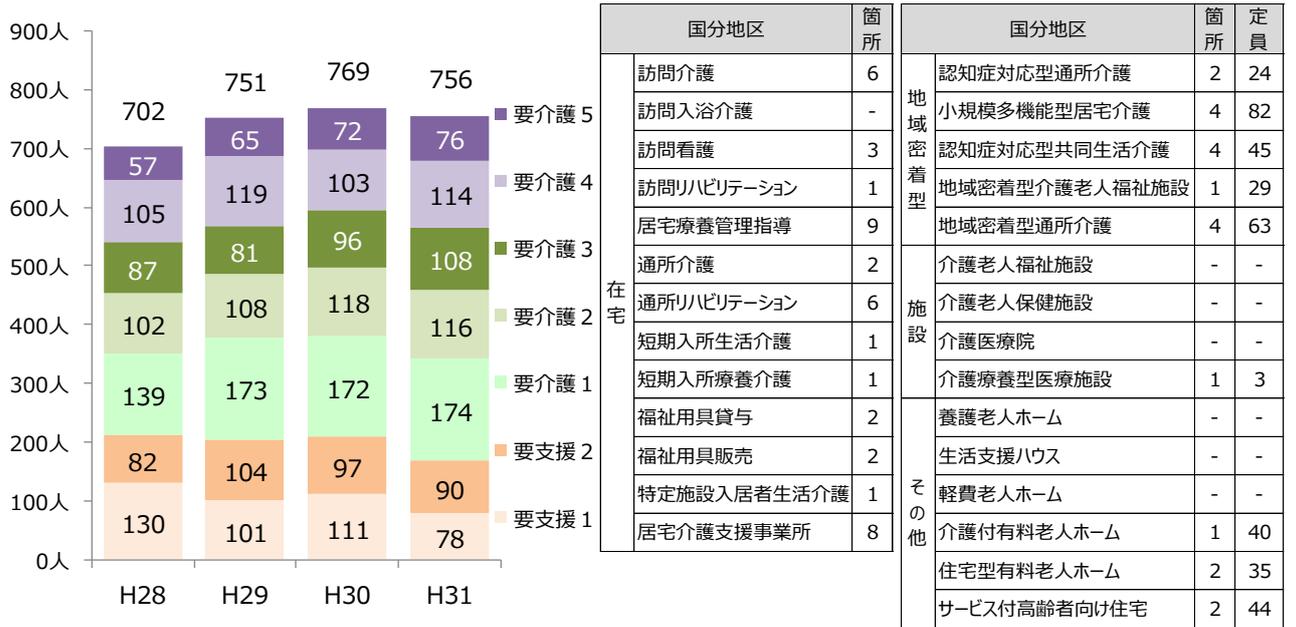
唯一山間部がなく、且つ最も面積の小さな圏域です。自治公民館ごとの総人口はどれも1,000人を超える大所帯であるにもかかわらず、自治公民館単位での地域活動を行っているのが特徴です。特に、防災を課題に挙げ、有事に助け合うためには日頃から何をしなければならないか考えながら取り組んでいる地区が複数ある圏域です。

総人口、高齢者人口は増加、認定者は増加から横ばいとなっています。令和7年には、65歳以上が1.14倍、85歳以上は1.10倍になります。



国分地区		令和1年 (2020年)	傾向	増減率	令和7年 (2025年)
65歳以上	人口	4,424人	↗	1.14倍	5,041人
	割合	19.7%	↗		21.3%
85歳以上	人口	778人	↗	1.10倍	856人
	割合	9.7%	↗		10.9%
70歳以下	人口	19,572人	↗	1.04倍	20,417人
	割合	87.0%	↘		84.4%

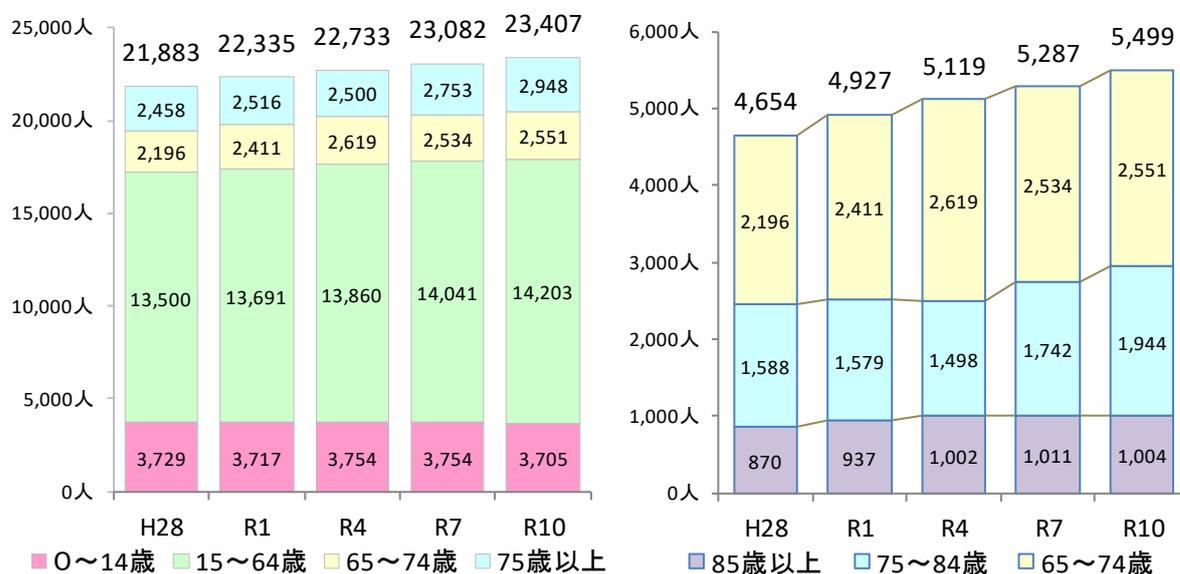
認定者数は増加となっていました。直近は減少しています。
 本市平均と比較して、国保医療費は45千円低く、特定健診受診率は1.3ポイント低く、特保終了率は0.7ポイント高くなっています。また、後期高齢医療費は20千円低く、長寿健診受診率は3.3ポイント高くなっています。



(3) 国分南圏域

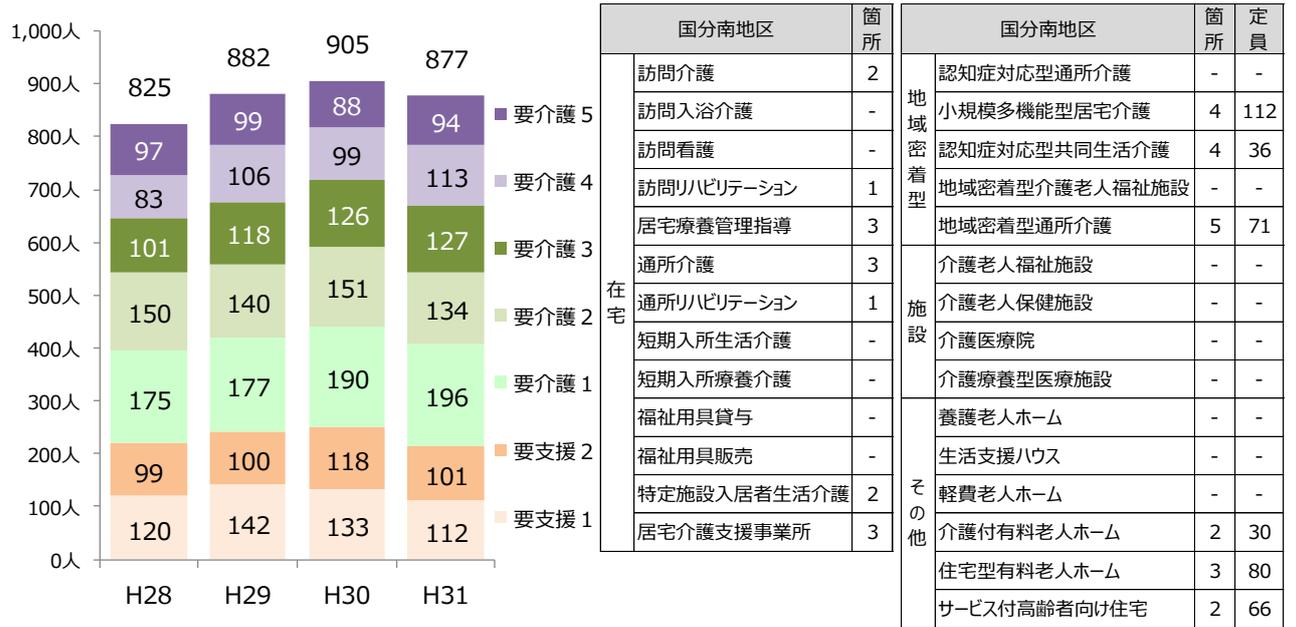
自治公民館単位で地域活動を行っている地区が多い圏域で、山間部は元々あった地域活動から顔の見える関係が構築されている地区が多く、平野部は地域のひろばや見守り隊、介護保険ボランティアポイント制度等、市の事業を有効活用する地区が多いといった傾向があります。

総人口、高齢者人口は増加、認定者は増加から横ばいとなっています。
令和7年には、65歳以上が1.07倍、85歳以上は1.08倍になります。

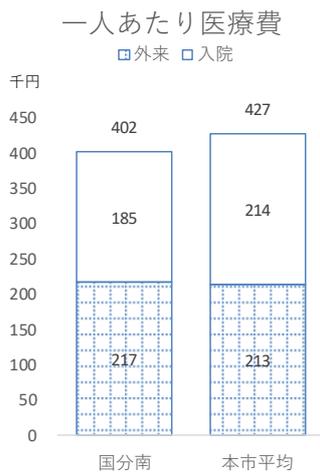


国分南地区		令和1年 (2020年)	傾向	増減率	令和7年 (2025年)
65歳以上	人口	4,927人	↗	1.07倍	5,287人
	割合	22.1%	↗		22.9%
85歳以上	人口	937人	↗	1.08倍	1,011人
	割合	11.3%	↗		11.9%
70歳以下	人口	19,049人	↗	1.02倍	19,486人
	割合	85.3%	↘		83.2%

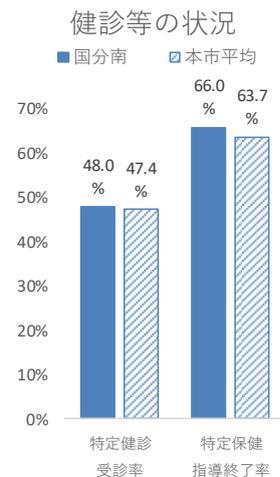
認定者数は増加となっていましたが、直近は減少しています。
 本市平均と比較して、国保医療費は25千円低く、特定健診受診率は0.6ポイント高く、特保終了率は2.3ポイント高くなっています。また、後期高齢医療費は11千円低く、長寿健診受診率は6.3ポイント高くなっています。



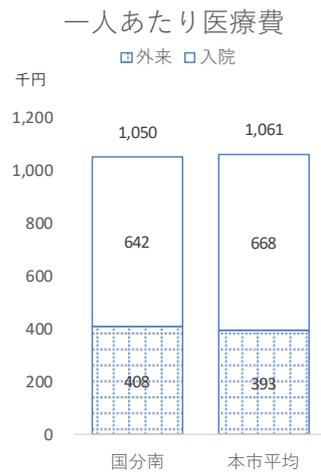
国民健康保険



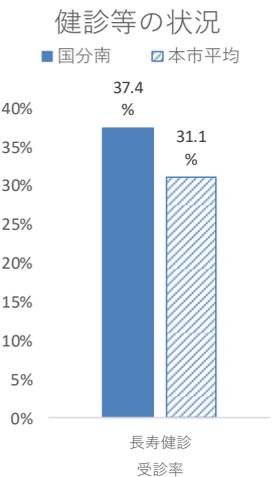
特定健診・特定保健指導



後期高齢者医療



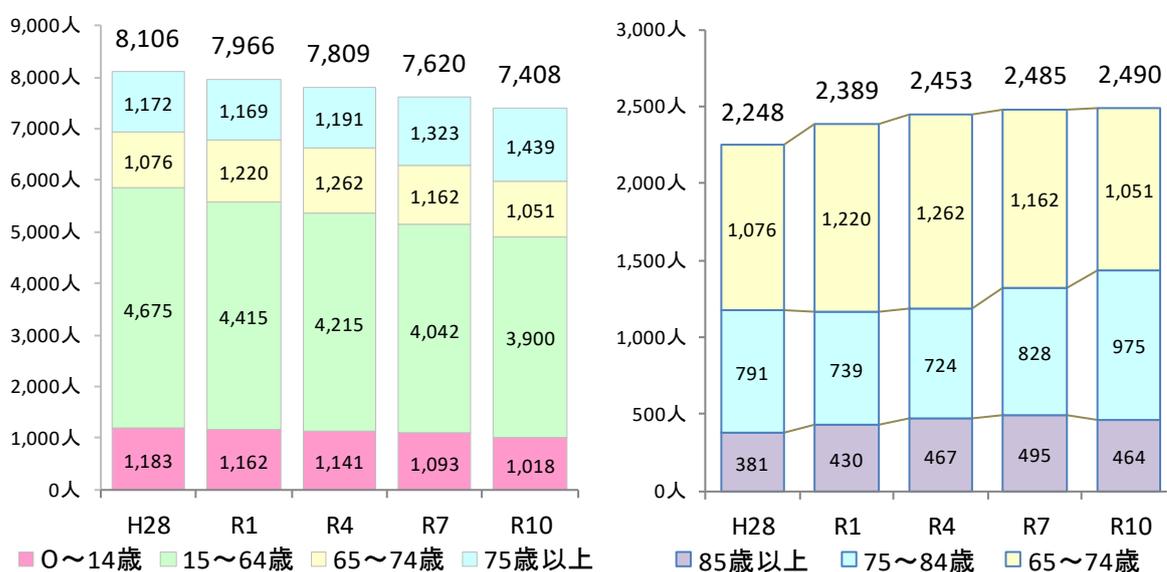
長寿健診



(4) 溝辺圏域

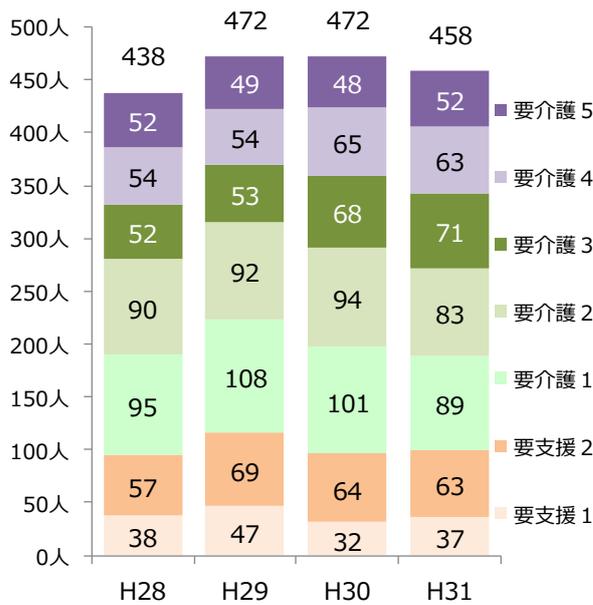
地域のひろばや見守り隊、介護保険ボランティアポイント制度等、市の事業の活用は少ないものの、自治公民館の結束力が強く自治会加入率の高い地区が多いだけでなく、住民の顔の見える関係がしっかり構築された地区も多いのが特徴です。また、介護保険事業所等による地域活動が活発な圏域でもあります。

総人口は減少、高齢者人口は増加、認定者は増加から横ばいとなっています。令和7年には、65歳以上が1.04倍、85歳以上は1.15倍になります。



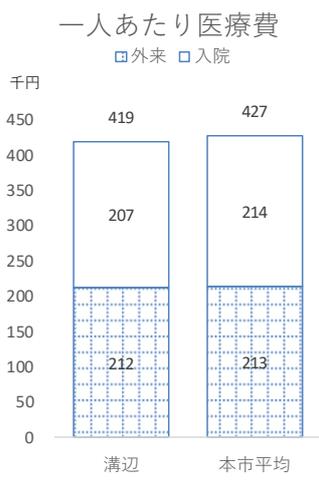
溝辺地区		令和1年 (2020年)			令和7年 (2025年)	
		人口	傾向	増減率	人口	割合
65歳以上	人口	2,389人	↗	1.04倍	2,485人	
	割合	30.0%	↗		32.6%	
85歳以上	人口	430人	↗	1.15倍	495人	
	割合	14.7%	↗		17.4%	
70歳以下	人口	6,406人	↘	0.86倍	5,526人	
	割合	80.4%	↘		74.6%	

認定者数は横ばいとなっていました、直近は減少しています。
 本市平均と比較して、国保医療費は8千円低く、特定健診受診率は0.5ポイント低く、特保終了率は11.3ポイント低くなっています。また、後期高齢医療費は98千円低く、長寿健診受診率は11.6ポイント低くなっています。

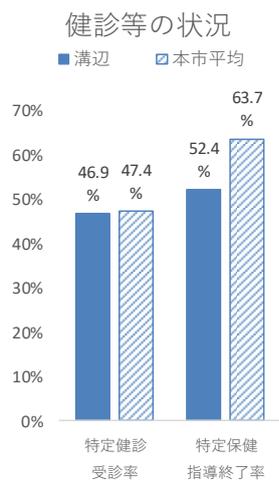


溝辺地区		箇所	溝辺地区		箇所	定員
在宅	訪問介護	1	地域密着型	認知症対応型通所介護	1	12
	訪問入浴介護	-		小規模多機能型居宅介護	2	54
	訪問看護	1		認知症対応型共同生活介護	2	27
	訪問リハビリテーション	1		地域密着型介護老人福祉施設	-	-
	居宅療養管理指導	2		地域密着型通所介護	-	-
	通所介護	2		介護老人福祉施設	2	80
	通所リハビリテーション	1		介護老人保健施設	-	-
	短期入所生活介護	2		介護医療院	-	-
	短期入所療養介護	1		介護療養型医療施設	1	6
	福祉用具貸与	2		その他	養護老人ホーム	-
福祉用具販売	1	生活支援ハウス	-		-	
特定施設入居者生活介護	-	軽費老人ホーム	-		-	
居宅介護支援事業所	2	介護付有料老人ホーム	-		-	
		住宅型有料老人ホーム	1		9	
			サービス付高齢者向け住宅	-	-	

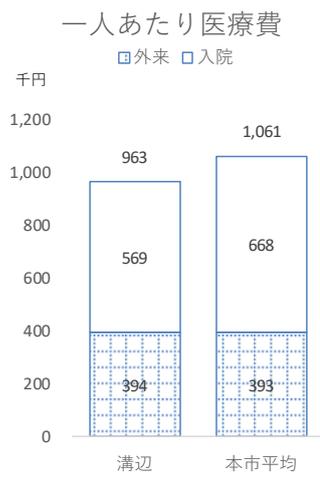
国民健康保険



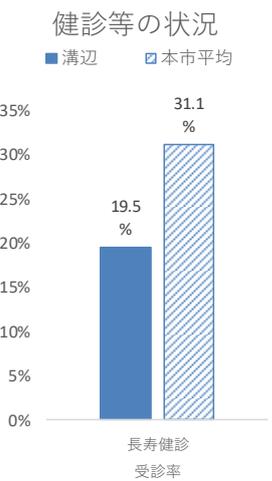
特定健診・特定保健指導



後期高齢者医療



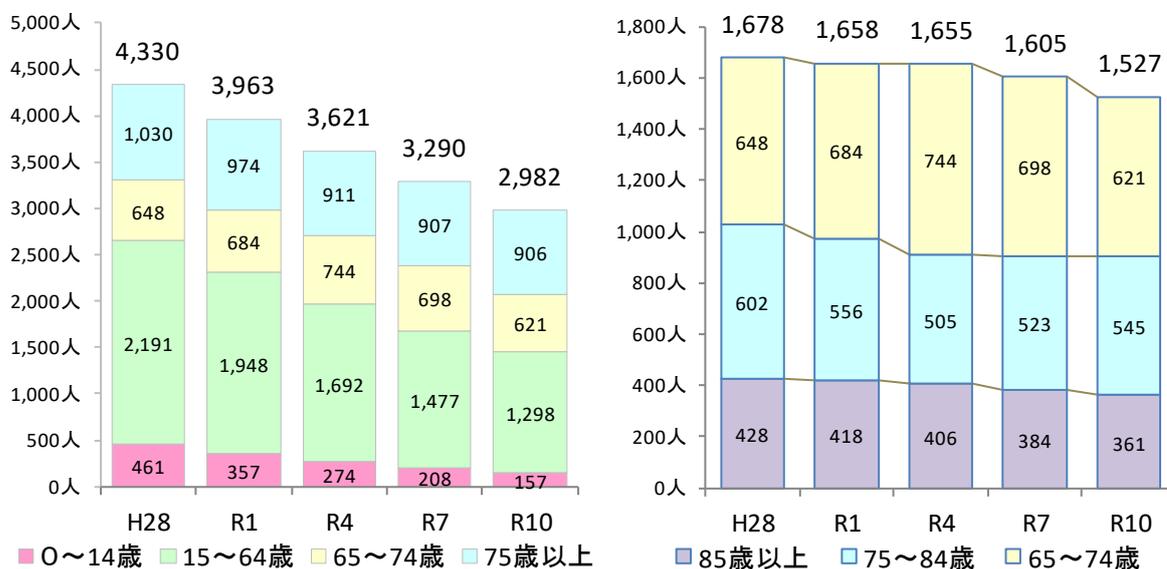
長寿健診



(5) 横川圏域

最も人口が少なく今後も減少傾向にある圏域で、そのことに危機感を抱いている地域住民が多く、リノベーションやイベントの開催等まちおこしに取り組む団体や住民が多いのが特徴です。自治公民館や自治会による地域活動も高齢化により減少傾向にあります。顔の見える関係がおおむね構築されている圏域です。

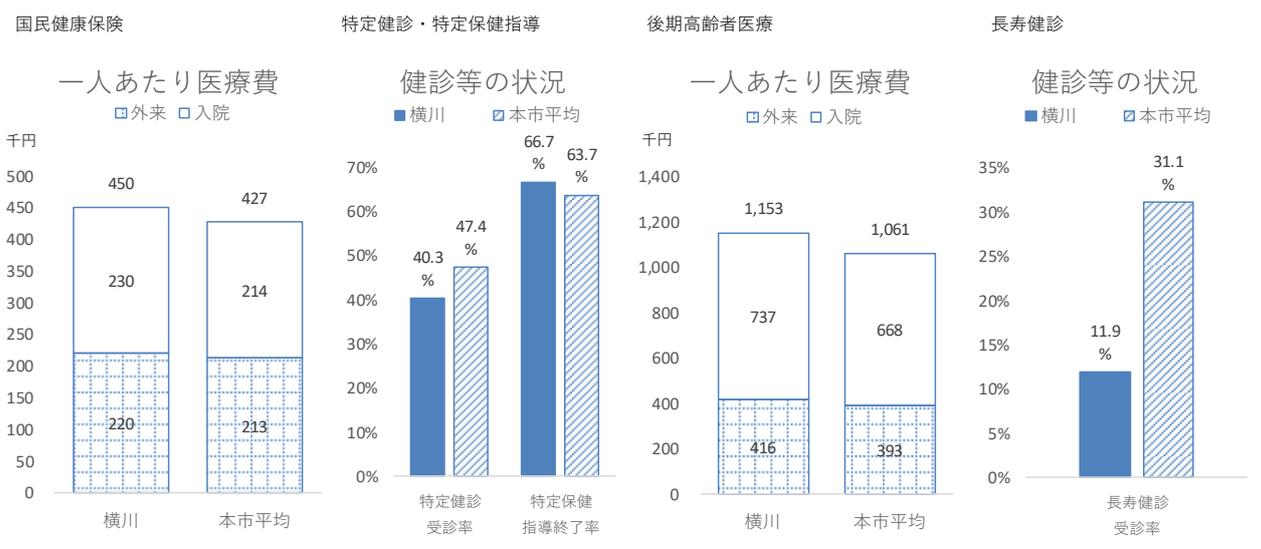
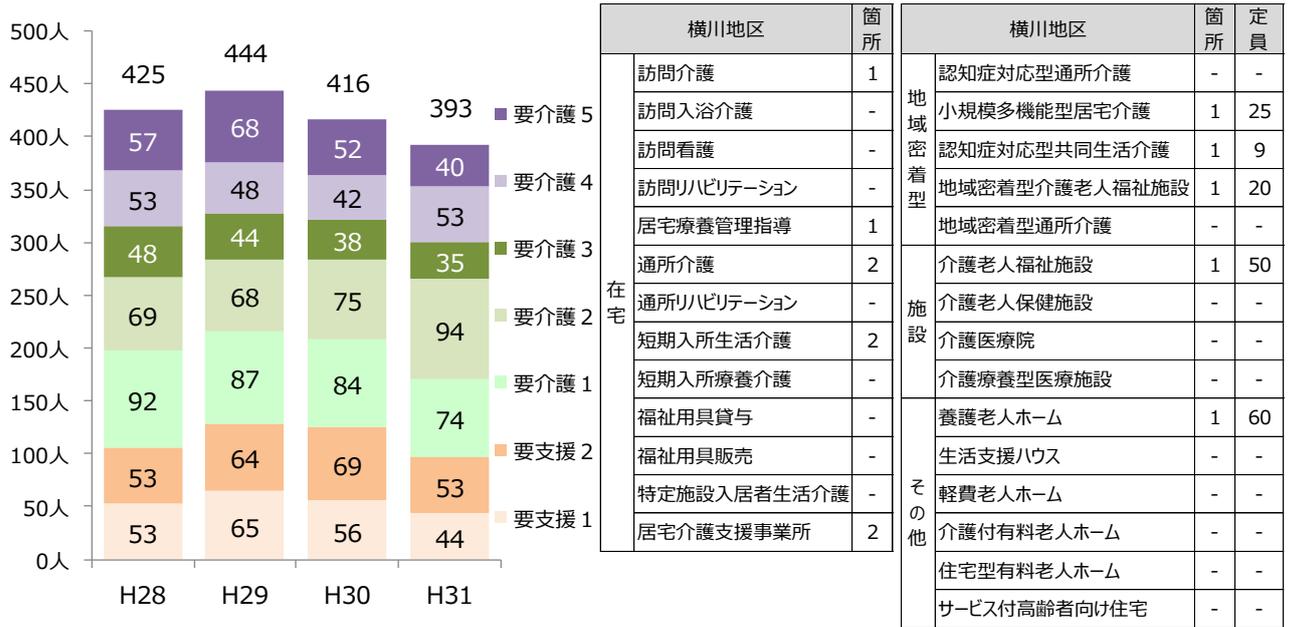
総人口、高齢者人口、認定者数、すべて減少となっています。
令和7年には、65歳以上が0.97倍、85歳以上は0.92倍になります。



横川地区		令和1年 (2020年)			令和7年 (2025年)	
		人口	傾向	増減率	人口	割合
65歳以上	人口	1,658人	↘	0.97倍	1,605人	
	割合	41.8%	↗		48.8%	
85歳以上	人口	418人	↘	0.92倍	384人	
	割合	24.6%	↗		27.6%	
70歳以下	人口	2,772人	↘	0.64倍	1,778人	
	割合	69.9%	↘		59.6%	

認定者数は減少しています。

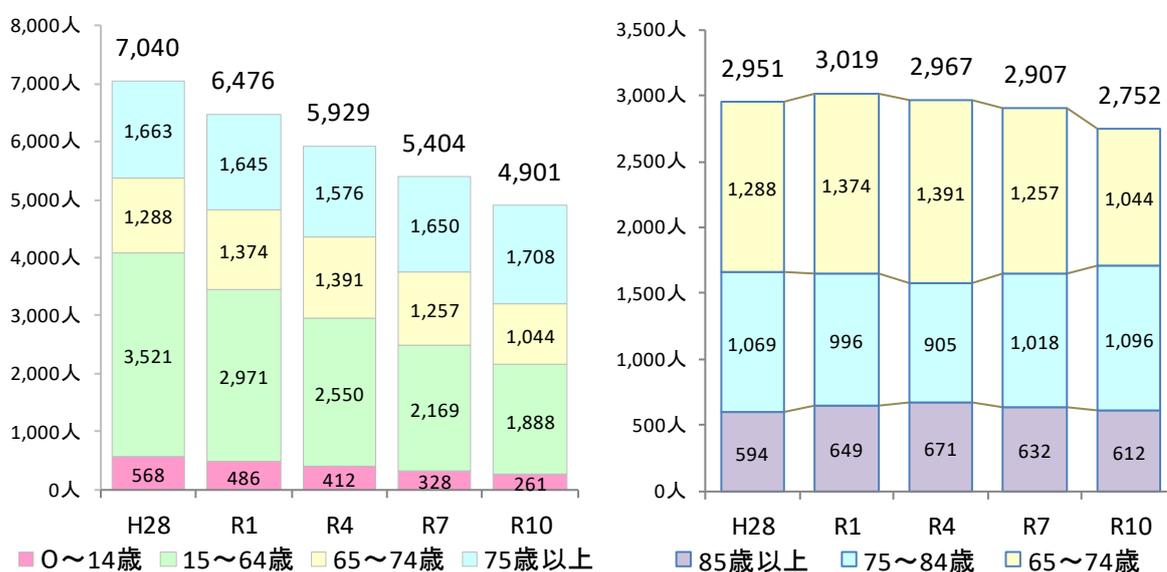
本市平均と比較して、国保医療費は23千円高く、特定健診受診率は7.1ポイント低く、特保終了率は3.0ポイント高くなっています。また、後期高齢医療費は92千円高く、長寿健診受診率は19.2ポイント低くなっています。



(6) 牧園圏域

地理的な要因もあり自治公民館単位での地域活動が活発な圏域です。特に世代間交流が盛んで、小学校が自治公民館ごとにあるほか、地域住民と小学校の良好な関係づくり等が要因となっています。また、自治会単位での地域活動も積極的で、自治会長や民生委員等を中心に協力体制が構築されている圏域です。

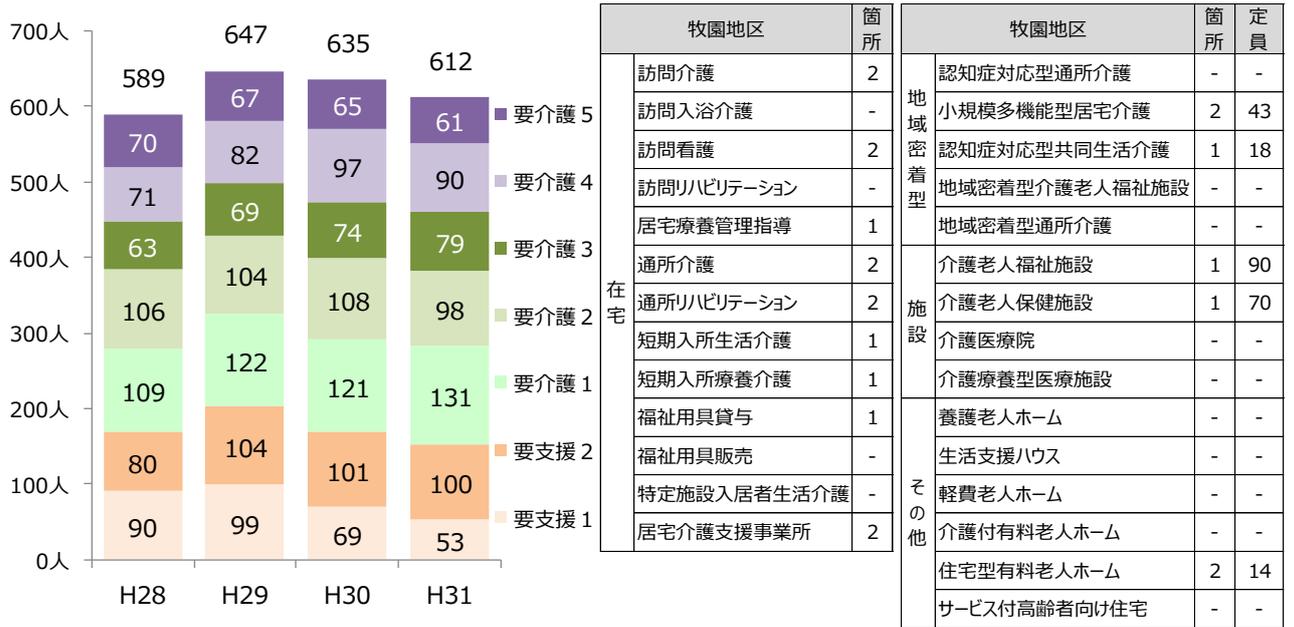
総人口は減少、高齢者、認定者数は横ばいとなっています。
令和7年には、65歳以上が0.96倍、85歳以上は0.97倍になります。



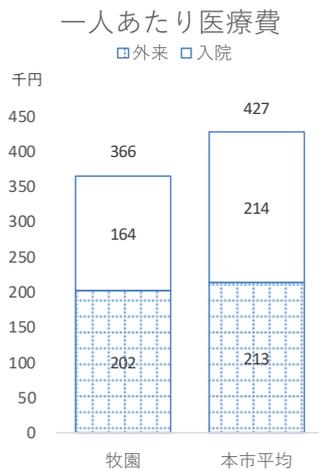
牧園地区		令和1年 (2020年)	傾向	増減率	令和7年 (2025年)
65歳以上	人口	3,019人	↘	0.96倍	2,907人
	割合	46.6%	↗		53.8%
85歳以上	人口	649人	↘	0.97倍	632人
	割合	25.4%	↗		30.5%
70歳以下	人口	4,352人	↘	0.63倍	2,732人
	割合	67.2%	↘		55.7%

認定者数は減少しています。

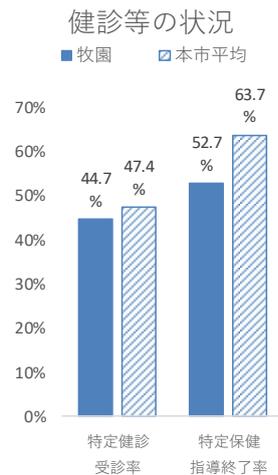
本市平均と比較して、国保医療費は61千円低く、特定健診受診率は2.7ポイント低く、特保終了率は11.0ポイント低くなっています。また、後期高齢医療費は64千円低く、長寿健診受診率は0.9ポイント低くなっています。



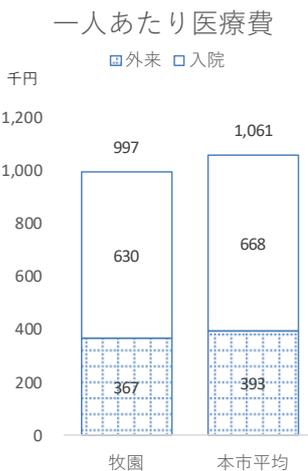
国民健康保険



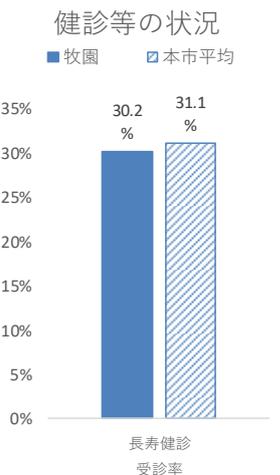
特定健診・特定保健指導



後期高齢者医療



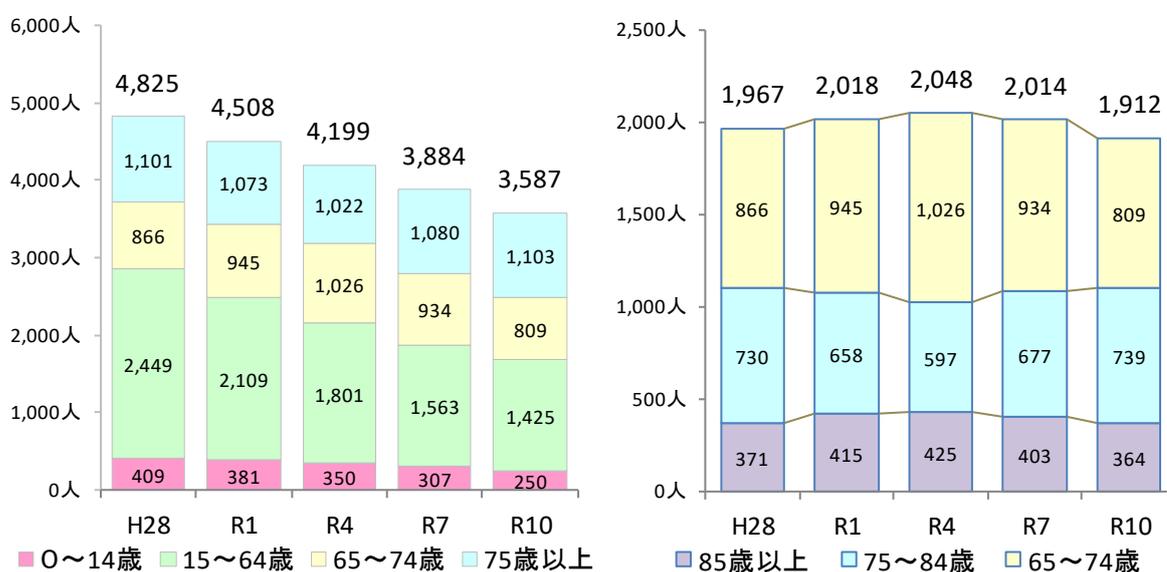
長寿健診



(7) 霧島圏域

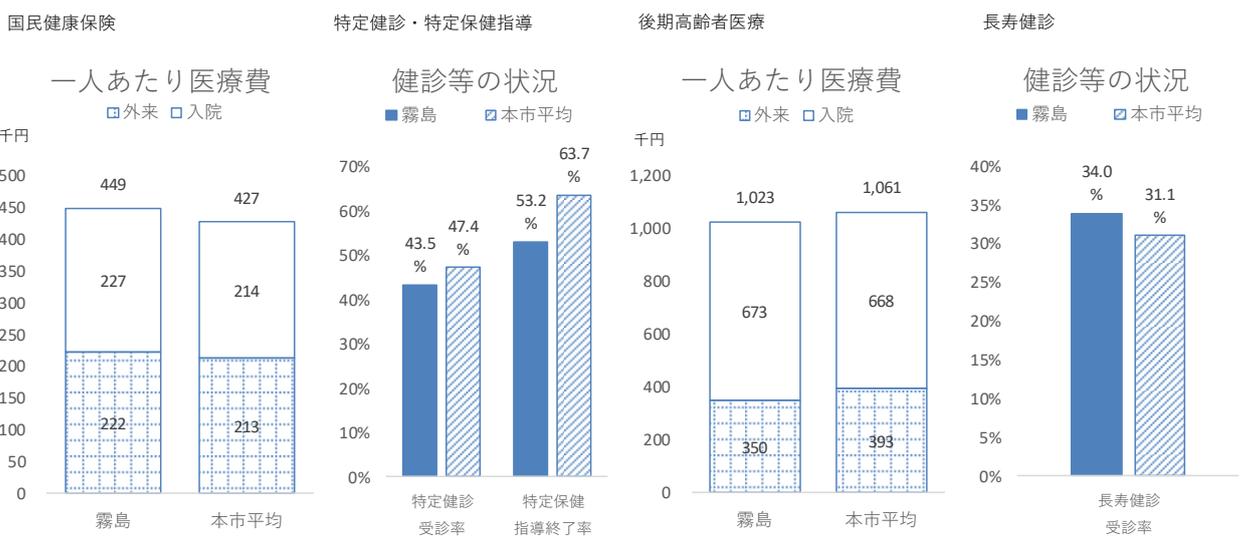
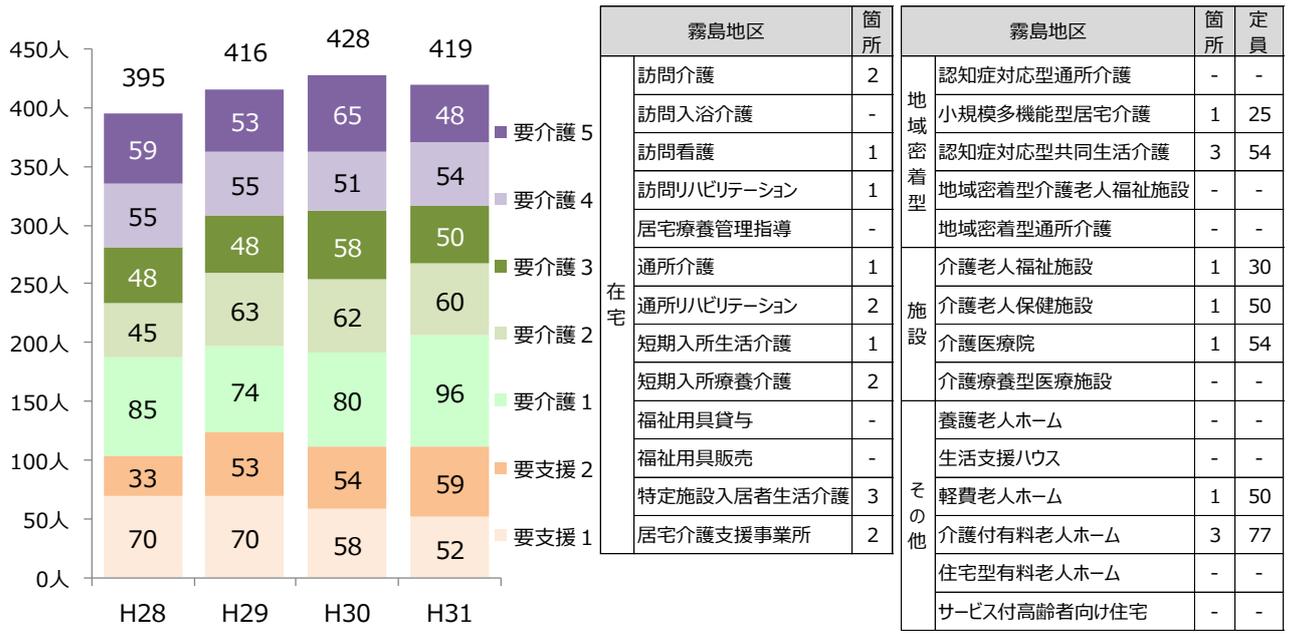
自治公民館単位の地域活動が多い圏域です。地域のひろばや見守り隊、介護保険ボランティアポイント制度等、市の事業の活用は多くありませんが、公民館活動を中心に老人クラブやボランティア活動等も行われており、こういった取り組みの積み重ねから顔の見える関係がおおむね構築できている地区が多い圏域です。

総人口は減少、高齢者、認定者数は増加から横ばいとなっています。
令和7年には、65歳以上が1.00倍、85歳以上は0.97倍になります。



霧島地区		令和1年 (2020年)	傾向	増減率	令和7年 (2025年)
65歳以上	人口	2,018人	→	1.00倍	2,014人
	割合	44.8%	↗		51.9%
85歳以上	人口	415人	↘	0.97倍	403人
	割合	23.8%	↗		27.8%
70歳以下	人口	3,124人	↘	0.67倍	2,104人
	割合	69.3%	↘		58.7%

認定者数は増加となっていましたが、直近は減少しています。
 本市平均と比較して、国保医療費は22千円高く、特定健診受診率は3.9ポイント低く、特保終了率は10.5ポイント低くなっています。また、後期高齢医療費は38千円低く、長寿健診受診率は2.9ポイント高くなっています。

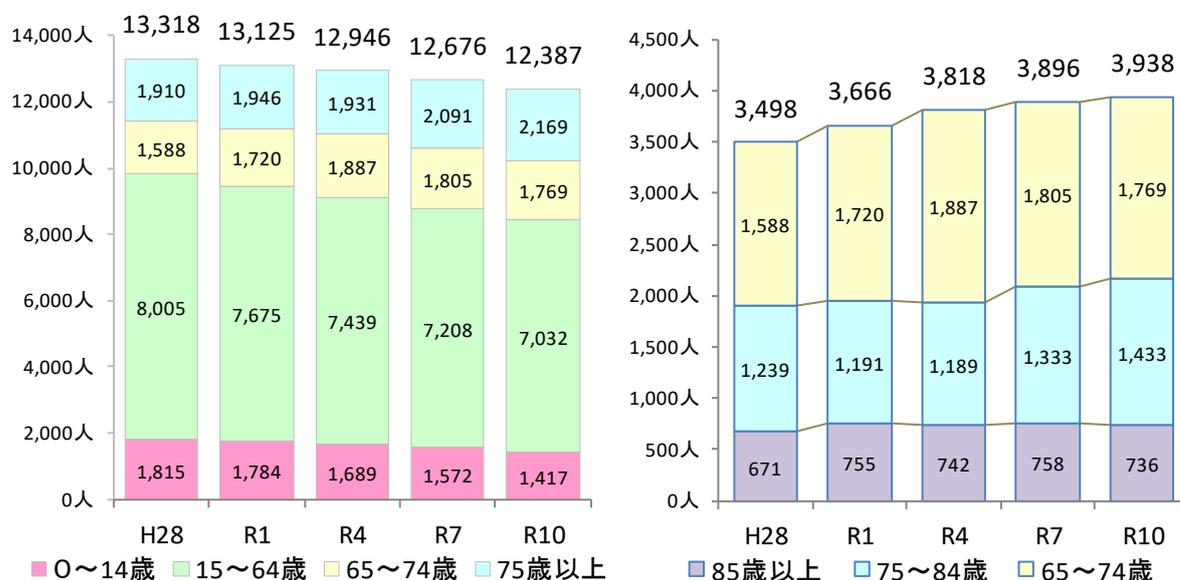


(8) 隼人北圏域

自治公民館単位の地域活動が活発な圏域で、地域のひろばや見守り隊、介護保険ボランティアポイント制度等、市の事業を有効活用する自治公民館・自治会が多いのが特徴です。また、圏域内の地区自治公民館の連携がよく図れており、情報交換を行う等、地域間のつながりが強いことも特徴の一つです。

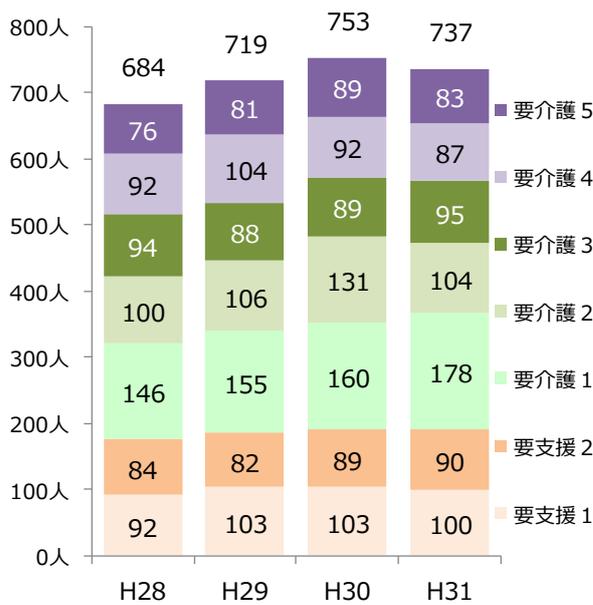
総人口は減少、高齢者人口は増加、認定者数は増加から横ばいとなっています。

令和7年には、65歳以上が1.06倍、85歳以上は1.00倍になります。



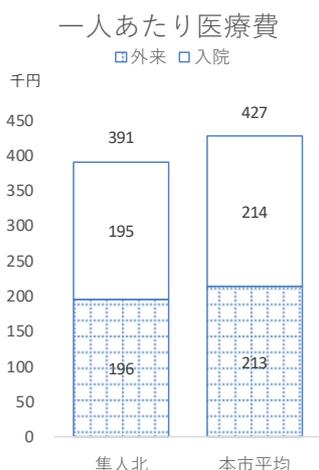
隼人北地区		令和1年 (2020年)			令和7年 (2025年)	
		人口	傾向	増減率	人口	割合
65歳以上	人口	3,666人	↗	1.06倍	3,896人	
	割合	27.9%	↗		30.7%	
85歳以上	人口	755人	→	1.00倍	758人	
	割合	14.8%	↗		16.5%	
70歳以下	人口	10,573人	↘	0.90倍	9,492人	
	割合	80.6%	↘		76.6%	

認定者数は増加となっていましたが、直近は減少しています。
 本市平均と比較して、国保医療費は36千円低く、特定健診受診率は1.0ポイント高く、特保終了率は2.3ポイント低くなっています。また、後期高齢医療費は56千円低く、長寿健診受診率は4.0ポイント高くなっています。

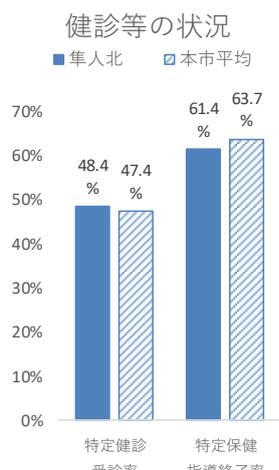


隼人北地区		箇所	隼人北地区		箇所	定員	
在宅	訪問介護	5	地域密着型	認知症対応型通所介護	-	-	
	訪問入浴介護	1		小規模多機能型居宅介護	1	25	
	訪問看護	3		認知症対応型共同生活介護	3	63	
	訪問リハビリテーション	3		地域密着型介護老人福祉施設	1	29	
	居宅療養管理指導	7		地域密着型通所介護	4	63	
	通所介護	4		施設	介護老人福祉施設	1	50
	通所リハビリテーション	4			介護老人保健施設	1	80
	短期入所生活介護	2			介護医療院	-	-
	短期入所療養介護	2			介護療養型医療施設	-	-
	その他	福祉用具貸与		-	その他	養護老人ホーム	1
福祉用具販売		-	生活支援ハウス	-		-	
特定施設入居者生活介護		1	軽費老人ホーム	1		30	
居宅介護支援事業所		7	介護付有料老人ホーム	1		48	
			住宅型有料老人ホーム	7		139	
			サービス付高齢者向け住宅	3	32		

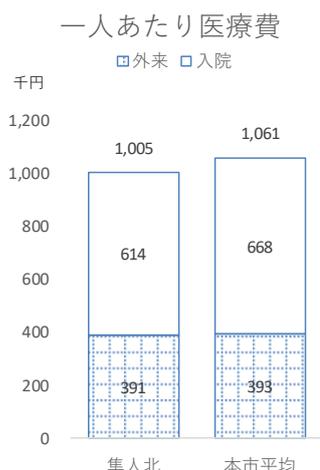
国民健康保険



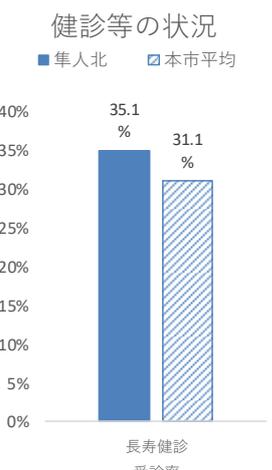
特定健診・特定保健指導



後期高齢者医療



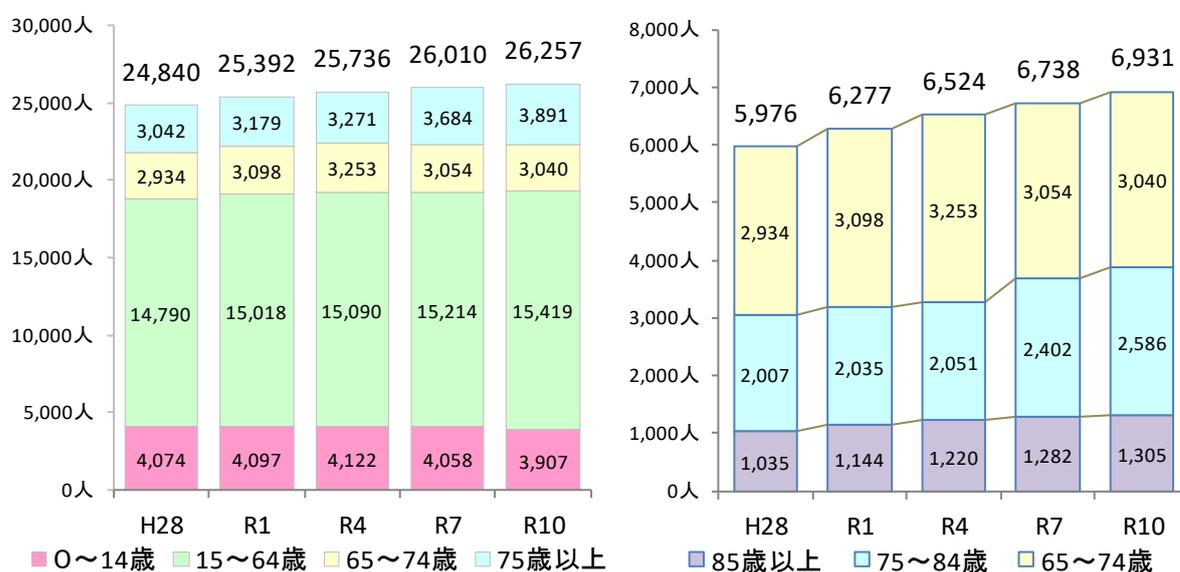
長寿健診



(9) 隼人南圏域

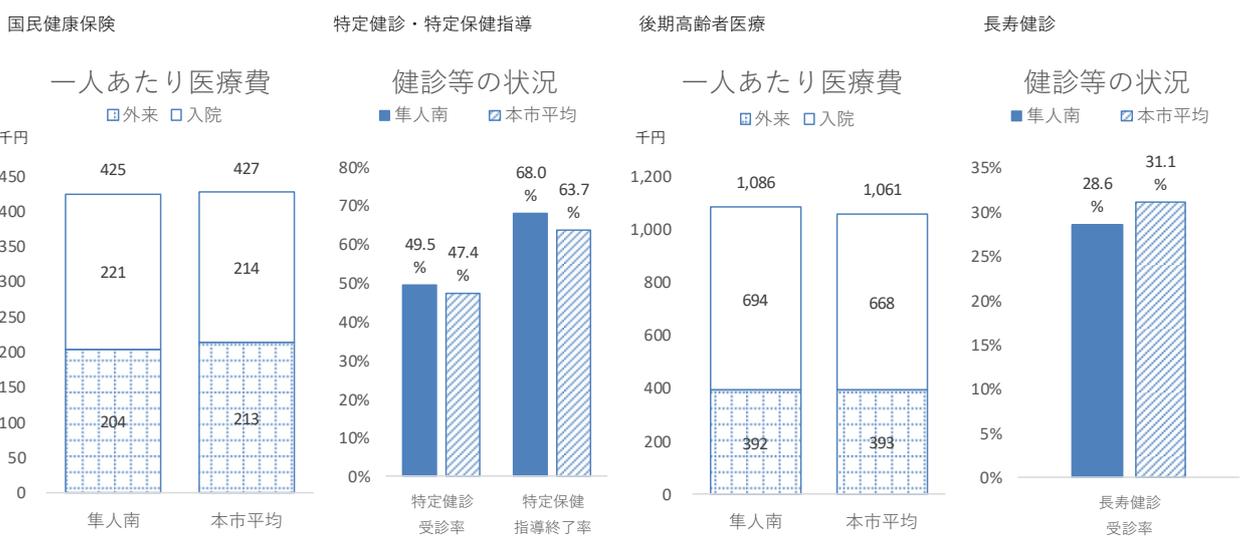
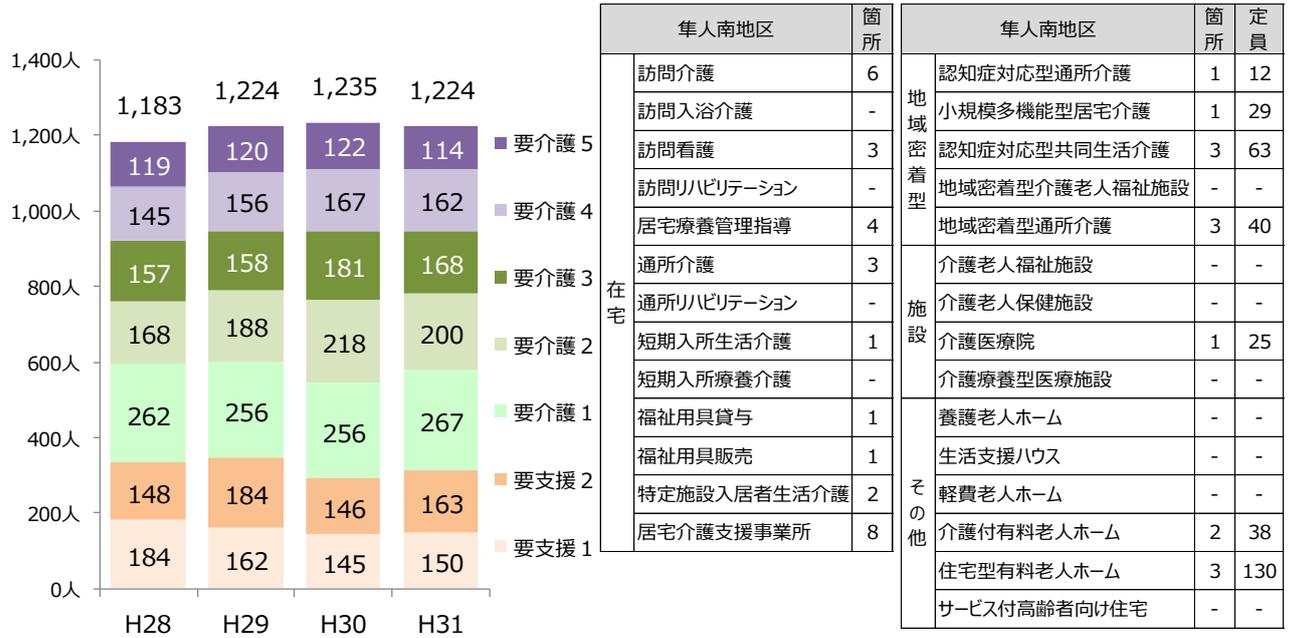
最も人口の多い圏域で、自治公民館あたりの人口も多いため、自治公民館内を小地域に分けて活動している地区もあります。老人クラブの活動も盛んな地域で、独居高齢者の見守りやスクールガード等が行われています。高齢者や子供との世代間交流が多いのもこの圏域の特徴の一つです。

総人口、高齢者人口は増加、認定者数は増加から横ばいとなっています。
令和7年には、65歳以上が1.07倍、85歳以上は1.12倍になります。



隼人南地区		令和1年 (2020年)	傾向	増減率	令和7年 (2025年)
65歳以上	人口	6,277人	↗	1.07倍	6,738人
	割合	24.7%	↗		25.9%
85歳以上	人口	1,144人	↗	1.12倍	1,282人
	割合	12.5%	↗		14.2%
70歳以下	人口	21,113人	→	1.00倍	21,204人
	割合	83.1%	↘		80.8%

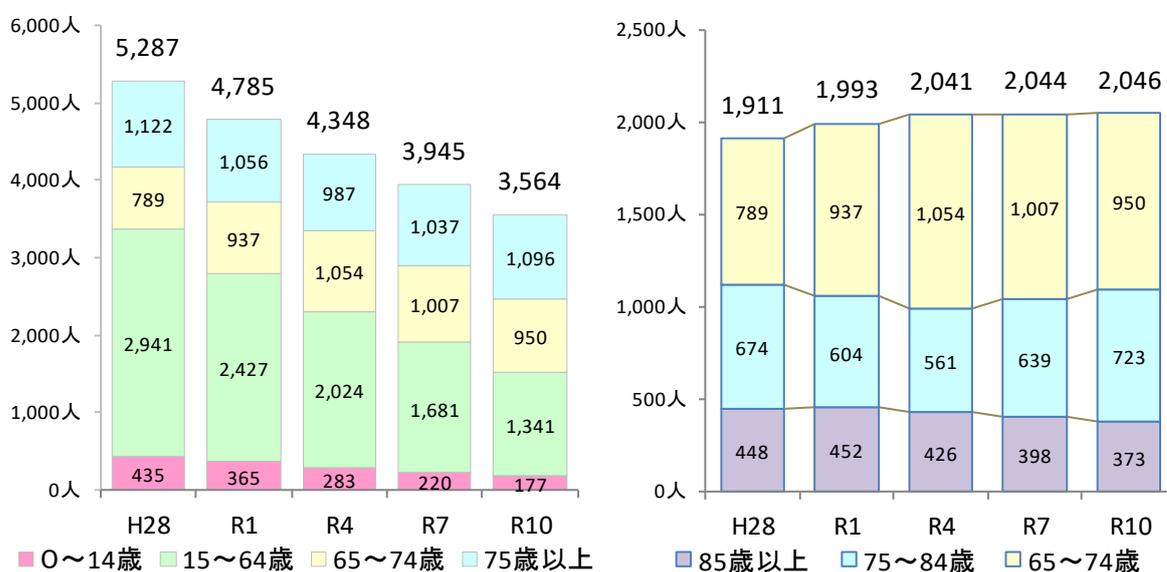
認定者数は増加となっていましたが、直近は減少しています。
 本市平均と比較して、国保医療費は2千円低く、特定健診受診率は2.1ポイント高く、特保終了率は4.3ポイント高くなっています。また、後期高齢医療費は25千円高く、長寿健診受診率は2.5ポイント低くなっています。



(10) 福山圏域

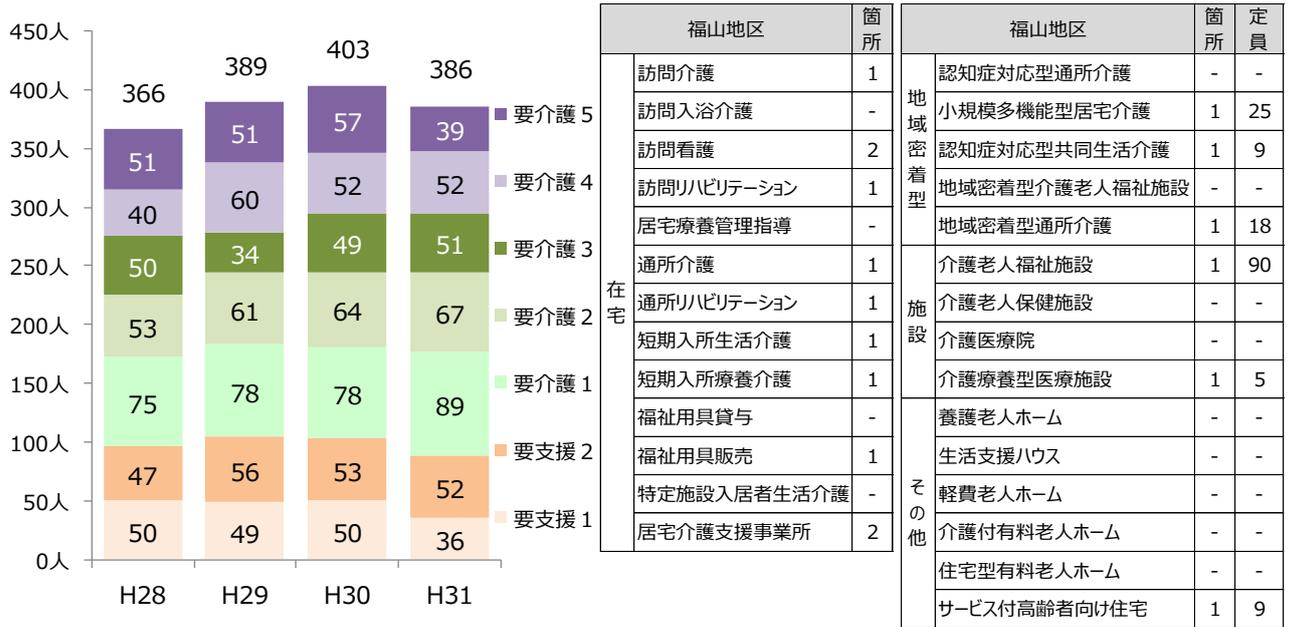
自治会加入率が高く、お互いの顔の見える関係がおおむね構築されている圏域です。人口の減少や高齢者の増加等に伴う課題もありますが、地域活動を楽しく行う慣習があり、地域のひろばや見守り隊、介護保険ボランティアポイント制度等、市の事業を活用しなくても、自主的に地域活動に参加する住民が多いという特徴があります。

総人口は減少、高齢者人口、認定者数は増加から横ばいとなっています。令和7年には、65歳以上が1.03倍、85歳以上は0.88倍になります。

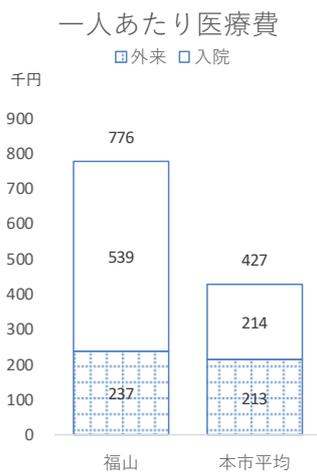


福山地区		令和1年 (2020年)			令和7年 (2025年)	
		人口	傾向	増減率	人口	割合
65歳以上	人口	1,993人	↗	1.03倍	2,044人	
	割合	41.7%	↗		51.8%	
85歳以上	人口	452人	↘	0.88倍	398人	
	割合	22.1%	↗		26.3%	
70歳以下	人口	3,454人	↘	0.60倍	2,060人	
	割合	72.2%	↘		57.8%	

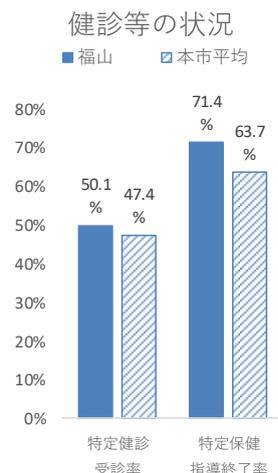
認定者数は増加となっていました、直近は減少しています。
 本市平均と比較して、国保医療費は 349 千円高く、特定健診受診率は 2.7 ポイント高く、特保終了率は 7.7 ポイント高くなっています。また、後期高齢医療費は 253 千円高く、長寿健診受診率は 0.3 ポイント高くなっています。



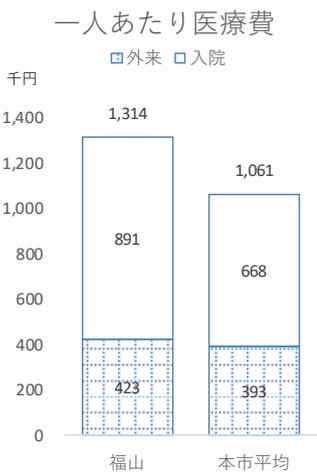
国民健康保険



特定健診・特定保健指導



後期高齢者医療



長寿健診

